

平成27年9月13日執行

新庄市長選挙

選挙公報

新庄市選挙管理委員会

9月13日(日)投票日

※忘れずに投票しましょう

投票時間 午前7時から午後7時まで

きけんしないで投票しましょう

◎投票日は9月13日(日)です

市政をまかす、わたくしたちの代表を選ぶ日です。よく見、よく聞き、よく考えて投票しましょう。

◎投票のできる時間は、午前7時から午後7時までです

◎入場券をお持ちください

投票所にお出かけの際には、入場券をお持ちください。
もし、入場券を忘れたり、入場券を紛失したときは、投票所の受付係に申し出ていただければ投票することができます。

◎代理投票ができます

字が書けないときは、投票所で申し出ていただければ「代理投票」の方法で投票できますので、棄権しないでください。

◎期日前投票の制度があります

投票日に用事があり投票所にいけない方は、期日前投票の制度をご利用ください。
期日前投票は、9月12日(投票日の前日)まで市役所東庁舎の選挙管理委員会事務室で午前8時30分から午後8時まで行っています。

住んでいる人を大切にすまちづくり

住みよさランキング県内2番目。全国50位と高く評価された新庄市。しかし、雪問題の解決なくして住みよさの実感はありません。雪問題に果敢に挑戦し、定住につなげ、笑顔あふれる元気なまち新庄をつくります。



やま お
山尾じゅんき

略歴
新庄北高等学校卒 大正大学仏教学部卒
新庄市職員 新庄市議会議員
現 新庄市長
最上広域市町村圏事務組合理事長
保護司 教諭師

人行きかうまち新庄(雇用交流拡大)

新庄・最上定住圏の推進
人口減少を交流人口拡大で

(新庄まつり一〇〇万人構想)
企業誘致と連携で成長産業へ
南東北インターハイ

(バドミントンの誘致)
陸上競技場改修

人ふれあうまち新庄(安心安全の充実)

県立病院の改築
雪対策の充実
(除排雪の強化、高齢者対策)
安価な宅地提供事業で若者定住へ
おもてなし事業

(トイレの洋式化、防犯灯LED化)
防災無線の設置

人学びあえるまち新庄(子育て・人づくり)

実践型農業後継者養成の推進
看護師養成機関の設置
地元医療従事者の養成
働きながら子育てできる環境の整備

新庄の良さを見つめ直す

エコロジーガーデン改修と活用
(k i t o k i t o)
新庄品位品格を上げる運動展開

新庄、このままではいけない! 変わるぞ! 新庄、あなたの声で



無所属
わたなべ泰山
たいざん

景気低迷、少子高齢化の時代...この先、新庄市は、どうなるのでしょうか。今こそ「市民の総力」を集結し、「希望あるまちづくり」をはじめるときです。

私のふるさと、新庄再生のために!

市民の声を聞き、開かれた「新庄市」にします

市民の声を「しっかり受け止め、市民参加で「透明な市政」に。

豪雪から市民の暮らしを「全力で」守ります

お年寄りにやさしい除雪、排雪体制をしっかりと整え、水の流れる流雪溝を早急に整備。安心できる医療と福祉を充実させます

新庄病院の機能充実をサポートし、赤ちゃんからお年寄りまで「誰もが安心して産み、育て、暮らす」を。特に医療給付や保育料の低減化など充実した子育て支援を。

スポーツ、文化、デザイン力を生かしたまちづくりをします

大規模な会議や大会の誘致組織を作り、全国から人の集う、うるおい豊かな文化都市に。

ふるさと教育をベースに子どもの学びの質を高めます

「教育」は、地域の魅力と暮らす人の誇りの育みが何より重要。熱意あふれる人材を発掘、魅力ある教育で学びの質を高め、全体の地域力を向上。

「新庄に帰りたい、暮らしたい」を「多面的に」支援します

希望を持って移住し、定住できる環境を整え、起業や新規就農などの支援を充実。

最上地域の枠を超えた「広域連携」を進めます

最上地域はもちろん、県境を越えた隣接の市との広域連携で産・学・官協働の事業を展開。さらにふるさと納税制度を積極的に活用した重点事業の充実。

大学・企業等との連携により、農・工・商業を活性化します

地域で「光りながらもたたくすむ」貴重な資源を活かした産業の育成や、6次産業化による持続・発展できる農業に。

中心市街地再生と情報発信力を強化します

東京での情報拠点づくり、道路の高速化に伴う道の駅構想。そして市民総参加で中心市街地再生の議論を。

市民主体の「集まるつながる広がる」体制が、新庄を再生させる。変わるぞ! 新庄

山形県 1950年真室川町生まれ。
沼田小、明倫中、新庄北高を経て立正大卒、65歳。
新庄北高教頭、新庄南高校長、県世界遺産推進監、
県教育次長、山形東高等学校長歴任。現在、山形大学
大学院教授、東北芸術工科大学講師。